

クラガリシダ

Drymotaenium miyoshianum (Makino) Makino
ウラボシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

選定理由

本県は分布の北限に近く、県内で知られている生育地は1地区のみである。着生する樹木の減少が目立っている。絶滅危惧Ⅰ類とする。

分 布

全国分布は本州（静岡県以西）～九州まで。県内分布は嶺南の1地区に生育。

種の特徴

常緑性の着生シダ類。深山の樹木に生育し、シシランに似る。高さ40cm前後で胞子のうは葉軸に沿って付く。中肋は表面でくぼみ、裏面では隆起している。

生育を脅かす要因

森林伐採、産地局限。

参考文献 中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															

ヤノネシダ

Leptochilus buergerianus (Miq.) Bosman
ウラボシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

限定される生育地で観光開発が進み、環境の悪化がみられる。採取圧。福井県が北限で2か所のみ。

分 布

全国分布は本州（千葉県、福井県以西）～九州まで。県内では嶺南地方に分布。

種の特徴

常緑性のシダ類。根茎は長く横走り、針金状で径2～3mmの鱗片をやや密に付ける。葉柄はほとんどないが10cm以上になるものもある。葉身も多型で三角形のものから披針形、長さ10～15cm、胞子のうは裏面に散在する。山麓付近の林床や樹木には上がる。

生育を脅かす要因

森林伐採、開発、園芸採取。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○												

サジラン

Loxogramme duclouxii H.Christ
ウラボシ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内で7か所確認されているが、今回調査では1か所でのしか生育がみられなかった。老木の減少とともに本種のような着生植物が減少しつつある。

分 布

全国分布は本州～九州。県内分布は小浜市、おおい町。

種の特徴

常緑性で深山の老木や岩石に着生する。根茎は長く横走り、単葉を出す。葉柄は短く、葉身の上部半分に胞子のう群を付ける。中肋近くから縁に向かって斜上して付く。

生育を脅かす要因

深山の老木は森林伐採や倒木で、岩場は林道造成等で減少しつつある。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1981）、中池敏之（1982）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○												